

子供たちと造る綱打ち用稲藁作り事業第2弾

◆事業の目的・背景

元綱の原料となる丈の長い藁の入手はままならないため、稲作を行い藁の調達から行う。

昨年は、コロナ禍のため参加が難しくなっていた地域の子供たちにも稲作りに参加してもらい、主食であるコメ作りを経験する中で農業体験や地域コミュニティに参加してもらい食育教育に生かす。

共通の目標のもとで取り組む地域の伝統行事は大変さもあるが、やり遂げた充実感や喜びを感じてもらいたい。



◆チャレンジ事業支援金の活用実績

活用年度	事業内容	支援金額
令和2年	・田起こしから脱穀までを四王藁の会会員で行い、775束の藁を収穫 ・藁保管倉庫の修繕	266,360円
令和3年	・田起こしから脱穀までを実施し、1560束の藁を収穫 ・藁保管倉庫の修繕	233,680円

◆事業成果

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響から子どもたちの参加には至らなかったが、2枚の田んぼを使用し、会員で稲作りを実施した。
- ・綱打ちに向けての長丁場の稲作りに大勢の方に参加していただいた。作柄は最高の状態で1560束が確保できた。

◆工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・稲藁から綱を打っているのは、四王で行っている秋一の女綱だけとなり、伝統文化として貴重なものとなっている。農業従事者が高齢化し次の担い手が少ないことがあり、若い世代への伝統文化の継承や、地域コミュニティ推進のために活動を続けていきたい。